

令和3年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

| | |
|---------|---|
| 事業実施主体 | 株式会社アクロラド |
| プロジェクト名 | 次世代医療用CT装置のX線検出器用半導体の量産化 |
| 事業内容 | 次世代医療用CT装置(フォトンカウントCT)を構成するX線検出器として不可欠な高品質CdTe(カドミウム・テルル)半導体を量産化し、CTの検出器用素子として海外のCT装置メーカーおよびCT用検出器メーカーに供給する。 |
| 今後の計画 | 2023年度：海外 欧州向け300kg（輸出販売のみ） 2024年度：海外 欧州向け400kg（輸出販売のみ） 2025年度：海外 欧州向け500kg（輸出販売のみ） |
| 最終目標と現状 | 最終目標）令和8年度までに、欧州を中心にCT検出器用素子の輸出量600kg（売上金額1,449百万円） 現状）R4年度 搬出量 175Kg 搬出額 601百万 |
| 補助事業の効果 | 事業内容）海外向けCT検出器用素子の需要増に対応するため、半導体を製造するための生産設備の導入を重点的に実施した。 今回導入した主な設備は半導体用高純度金属を生産するための装置と半導体結晶を生産するための装置であり、それぞれ従来比約2.5倍、2倍の生産能力増強を達成することができた。 |

写真・図



半導体用高純度金属を生産するための装置



半導体結晶を生産するための装置